

## 施策評価調書(23年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(2)

政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存と活用	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	127
	政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	関係部局名	教育庁、企画振興部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	文化財・伝統文化の保存	文化財・伝統文化の活用	文化財・伝統文化の継承	世界遺産をめざした取り組み

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)										
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125						
i	国・県指定文化財数(件)	①	H16	835	876	872	99.5%	882	900										
ii	歴史博物館などの入館者数及び訪問講座等受講者数(人/年)	③	H22	97,497	98,000	111,762	114.0%	98,500	100,000										

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	概ね達成 地域に受け継がれてきた文化財の新たな指定や登録の推進を行った結果、目標値を概ね達成した。	達成
ii	達成 歴史博物館30周年記念の特別展の充実や、広報活動や公開講座等を充実した結果、目標値を達成した。	

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・県内の文化財の保存に必要な保存修理や調査研究等30件の事業に対し補助を行ったことで、文化財・伝統文化の保存を着実に進めることができた。
②	・地域の観光拠点となっている国史跡「宇佐神宮境内」等5件の文化財の修復現場を公開することで、1,401名の観光客が訪れるなど、文化財の活用が図られた。
③	・教育委員会ホームページ上で文化財・伝統文化に関するアーカイブの公開を行うことで、文化財・伝統文化の継承に向けた情報発信ができた。
④	・近世教育資産を構成する国史跡「咸宜園跡」内の説明板や生垣の整備等を行うことで、登録に向けた環境整備ができた。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 先哲史料館史料収集活用事業	現状維持	—	6,959
	2 県指定文化財修理費補助事業	現状維持	—	37,595
②	1 文化財の戦略的保存・活用推進事業	終了(24年度末)	233	28,520
	2 ふるさとの歴史教育支援事業	現状維持	—	6,078
③	1 特別展開催事業	現状維持	—	18,683

#### 【Ⅵ. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～④の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に受け継がれてきた文化財の指定や登録の推進</li> <li>・観光資源として文化財を活用する取り組みを市町村が行うよう、積極的な働きかけを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの伝統文化の鑑賞、体験、発表機会の充実</li> </ul>

#### 【Ⅶ. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会(H23.5)</p> <p>・ダイハツ工場に社会見学に来た小学生を歴史博物館に誘致するためのPRが必要。</p>	
--	--

#### 【Ⅷ. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後国の指定等が期待される文化財に対する調査や測量など指定に向けた条件整備を行う。</li> <li>・市町村が行う観光振興や地域活性化の取組と連携した文化財の保存活用を支援する。</li> <li>・子どもたちが伝統文化を鑑賞、体験、発表する機会を確保する。</li> </ul>